

ようやく

活動再開!!

R2.7.11

資源回収



次へ

次へ



# ようやく

【発行】  
三丘徳修館  
安田562-2  
TEL・92-0177

## 三丘徳修館だより & “ほっと三丘” コミュニティだより

45号  
配布  
令和2年8月1日発行

# 活動再開!!



## R2.7.11

### ～資源回収のようす～

#### 作業スペースの拡大



感染対策として、  
作業前に  
検温・アルコール  
消毒を行いました。

#### マスク・手袋 着用

### 今回もたくさんの資源物品が!!



#### みんなで分別・運搬作業!



### 資源回収実績

(R2. 4～7 月実施分)

売上：24,438 円  
市補助金：16,140 円 (予定)  
計：40,578 円



## 資源回収



← 次へ

**地域で取り組む資源回収活動 (令和2年度第1回目)**

7月11日(土)、三丘地区において“ほっと三丘”コミュニティ協議会恒例の資源回収活動を実施しました。コロナ禍による活動自粛ムードの中、ボランティアの皆さんのご理解ご協力もあり、三丘地区の活力となれるように令和2年度最初の事業として実施することができました。

当日は、梅雨前線の停滞の影響により、天候が心配されましたが、幸い雨が降ることもなく、予定通り作業に取り組むことができました。また、感染対策により通常と異なる部分もありましたが、皆さんが慣れた手つきで回収・分別作業に取り組んでくださったおかげで、とてもスムーズに終わることができました。ご協力いただいた皆様、大変お疲れ様でした!

今回の活動を皮切りに、三丘の地域活動が少しでも上向いていくことをお祈りしております。



次へ →

## 令和2年度総会 書面表決の結果について

本年度の総会は、感染対策より、書面表決書による議決とし、ご提出いただきました。

(令和2年7月7日締切)

その結果、すべての議案について、過半数の賛成を持って可決されましたのでご報告いたします。

(総数 73名)

〈議案〉

・第1号議案「令和元年度事業実績」	賛成 66	反対 0
・第2号議案「令和元年度収支決算報告書 及び 監査報告」	賛成 65	反対 1
・第3号議案「令和2年度役員(案)」	賛成 66	反対 0
・第4号議案「令和2年度事業計画(案)」	賛成 66	反対 0
・第5号議案「令和2年度予算(案)」	賛成 66	反対 0

## 令和2年度役員改選について

役員改選について、右記のとおり決定いたしました。

今後ともご理解ご協力の程、よろしくお願いたします。

令和2年度役員一覧		
会 長	宗貞 洋治	
副 会 長	有海 照明、長畠 麻欣子	
事務局 長	山本 博彦	
会 計	河添 啓子	
顧 問	國廣 賢次、渡邊 貴史、榎山 隆、石光 英隆	
監 事	宮崎 美由紀、花房 顕司	
(専門部) 福祉部 部会長	松谷 昭友	
生活安全部 部会長	原田 篤志	
地域・文化振興部 部会長	堀永 州平	

## ～三丘スポーツ振興会からの連絡事項～

### 盆ソフトボール大会、支部対抗ソフトバレーボール大会の中止について

感染対策により、8月開催予定の下記大会も中止を決定いたしました。

(令和2年7月13日評議員会にて)

・第70回盆ソフトボール大会(8月15日)

・第41回支部対抗ソフトバレーボール大会(8月23日)



開催を楽しみにされていた方々には、大変申し訳ありませんが、ご理解いただきますようお願いいたします。

次回開催時には、ぜひふるって皆様のご参加をお待ちしております。



R2.7.13 評議員会

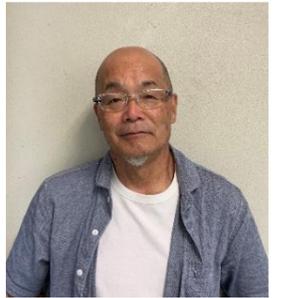
## 「三丘の将来」インタビュー(全5回)

少子高齢化、AI技術の発展、自然災害の多発、新型コロナウイルス等、日本全体がめまぐるしい変化に見舞われています。この三丘地域も例外ではなく、現在・将来において取り組むべき問題がたくさんあります。第38号より、全5回に分けて、各団体の長等に、お一人ずつ「三丘の将来」について、5つの質問をもとに、思いを語っていただきました。

最終回である第5回目は、「ほっと三丘」コミュニティ協議会 会長 宗貞 洋治 さんです。

### Q1. 三丘地域の好きな所や強みを教えてください。

新興団地がなく、旧来の住民が多い。豊かな自然、歴史と伝統が継承されたまちである。各自治会それぞれ様々な問題を抱えているが、それを解決しようと頑張っている多くの方々がいる。三丘の環境や雰囲気気に入りに、ここで暮らし、子育てすることを選んでくれた人たちがいる。



### Q2. 三丘地域の現在抱えている問題はどのようなものがあると思いますか？

- (1) 少子高齢化による自治会や地域活動等の鈍化
- (2) 空き家、休耕田が増加している
- (3) 地域の担い手が減少

現在の問題を解決すべく、「みつおずっと子どもがいるまちプロジェクト」を立ち上げ、定住・産業・環境・学校の4部会で活動しており、それぞれの部会が成果をあげている。活動によっては地域の方々のご理解、ご協力をいただきながら活動を展開している。

### Q3. 自然災害の脅威が心配されていますが、現在の心境は？

2年前の災害時での教訓を忘れることなく、防災意識を持ち続けることが大切だと思う。本年3月に改定された「島田川洪水ハザードマップ」により、自分が住んでいる場所の被害予想をもとに身の回りの危険場所を確認し、家族や周りの人たちとともに情報を共有しておく。(声をかけあう、助け合いの確認)

昨年発行された「しゅうなん 防災」を活用し、正しい防災知識を持っておく。2年前の災害を受け、懸案事項となっている「地域ぐるみの協力体制」について具体的に何を、どうするか、どの様に進めていくか取り組む必要がある。

### Q4. 今後の展望や目標を教えてください

地域づくり先進地への視察を通して参考とすべき取組や、得られた情報をもとに、「みつおずっと子どもがいるまちプロジェクト」の活動に取り入れ、より一層活発に進めていく。

- ・空き家、休耕田の管理システム化
- ・みつおゆめ広場を活用し、地域内外の交流活動の場にする

### Q5. 未来を担う次世代へ伝えたいことは？

どんなに時代が変わっても、美しい自然と伝統を守り、いつまでもずっと子どもたちの元気な声が響き、三丘の良さをいかした、暮らしやすいまちをみんなで築いてほしい。